



東京支部だより



同窓会東京支部 会長 並木 正治 (28W)

ご挨拶

同窓会のみなさん、お元気にお過ごしのことと存じます。去年の暮れから今年にかけて、毎日豪雪の様子がテレビに映し出され、雪国の生活の苦勞が全国に知らされました。私も小学生のころ雪下ろしで、朝から晩まで屋根の上に居て泣いていたことを思い出しました。雪国に育った者なら誰でも雪で難儀をした経験があると思います。そんな体験の中から越後人の気質が生まれたのでしょうか。

同窓会東京支部も高齢化が進んでいますが、同窓会に多大な貢献を頂いた大先輩、中川耕作氏(大正 14 年機械卒)、星野周助氏(昭和 6 年染織卒)両氏が永眠されました。謹んでお二人のご冥福をお祈り申し上げます。

今年も東京支部総会が開催されますが、年々参加人数が減少傾向の中、会員の皆さんのご協力と役員諸氏努力で、此処数年は横這いか幾らか上向きで推移してきました。昨年の総会で私は、出席(120 名)の皆さんに「来年の総会には、友人知人を誘って二人で参加して下さい。達成すれば 240 名の大総会が可能となります。」とお願いしました。何卒ご協力お願い申し上げます。皆さんと永年慣れ親しんできた池之端文化センターが本年 6 月末日で閉店が決まり、総会が 6 月 24 日に早まりましたが文化センターで最後の総会となります。皆さんのご協力で、楽しく和やかな会に盛り上げて下さい。

末筆になりましたが、同窓会各位のご健勝を心から祈念してご挨拶と致します。



同窓会東京支部 副会長 樋口 昭 (29E)

ご挨拶

会員各位ご壮健のことと、ご推察申しあげます。

「目に青葉山ホトギス初鯉」と謳われる侯となり、異常気象、豪雪の厳冬であった事を思えば自然の恵みの偉大さに感謝するばかりです。

早、我が東京支部の最大イベント「同窓会総会」の時となりました。池之端文化センターでの開催は本年が最後となります。永年の会場が無くなりパートナーが居なくなった様で大変残念で寂しく、学窓を旅立つ卒業式を迎えるような複雑な気持ちであります。本年の総会は例年と違った雰囲気になり、数々の思い出や記録に残ることと思います。本年は特に会員各位多数の参加を切望致します。

「07年問題」「団塊続時代」と言われています、「若木の花のみずみずしさ、老木の花の気高さ」の諺の如く御年長の会員各位の出席を戴き本会の活性化の方法についてご意見を賜りたいと思います。又、本会の活性化については「同好会」の世代を超えた繋がりや「他支部との情報交換や相互参加」に依り同窓会の共通価値観を醸成することが効果的であると思います。

私、非力ではありますが並木会長を補佐し同窓会の発展に努めてまいります。諸兄の更なるご指導ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら会員諸兄の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

東京支部役員登場

私の趣味と生涯学習

支部理事 片桐 八十八 (30M)



人は生涯学習を意識して生涯学習を行うのではなく、学習した後を振り返ってみて、これも、あれも生涯学習だったのだと思われるのが、社会人になる前の時期に多い。遊びであれ、趣味であれその行為の中には必ず「学習」と学習する事による「発達」が付随している。

趣味の一例を述べると、私にとって子どものころから、現在に至るまで「学習」と「発達」の効用を顕著に伝えているのが趣味の釣りである。それも深山の溪流を対象にするヤマメやイワナ釣りである。実に、奥深い趣味の世界である。北限の溪流魚を求めて、礼文島や知床まで、また、九州の高千穂峡の奥深くまで釣行し「学習」と「発達」を繰り返してきた。

最近、よく学び、いろいろな趣味に没頭し、よく遊んでいる。学びも、趣味も、遊びもその内容はちがっても、すべて生涯学習としての共通の課題を抱えながら、進行していくことであると私は思う。



僅かな恩返し

支部理事 矢久保篤司 (30M)



母校を卒業、仕事は電力の火力発電に従事した。何か恩返しと思い、生まれ育った故郷で幼少の頃から毎日見ている権現堂山の入り口に、登山案内盤を多数の協力者を得て設置する事ができた。特に山の展望案内盤は計画ならびに製作段階から、前同窓会長の室賀輝男先輩の並々ならぬご指導とご尽力を頂戴した。山頂の展望写真を基に、北面と何面の山並みに合わせて名称を入れて、材質は耐磨耗と耐腐食に優れている砲金鑄造製とした。また山頂への持ち上げは、地元の山溪会の若い人達が交代で背負って協力をして、据付は最適な岩を石屋さんが加工しながら嵌め込みをした。設置後の山頂では、各地からの登山者が案内盤を見ながら展望を楽しんでいた姿が印象に残る。この盤は室賀先輩のご指導の賜物として、今後末永く山頂に刻み込まれて、登山者を喜ばせてくれる事でしょう。故郷に僅かな恩返しとした。



思い出の店通学時の思い出

支部理事 大関 稔 (31E)



昨年度の本部同窓会に出席した際、到着時間が少し早すぎたので時間調整をかねて大手通り周辺を散策してみました。町並みがすっかり様変わりし、むかし立ち寄った店々がなかなか見当たりません。それに休日なのに街は閑散としていて、昔の賑わいは何処へ行ったのか等と考えながら歩を進めていると、在った！あの懐かしい表町の模型屋さん「龍文堂」が残っているでは有りませんか。嬉しくなってお店に飛び込んでしまいました。店の女将さんの話によると、バブルの頃には長岡市から市街区調整のために強い立退き要請を受けていたそうですが、固く断り続けて、今では店裏の土地も買い取って以前の3倍位にしたそうです。移転しなくて本当に良かったと喜んでいました。一方で客層も随分変って、成人が大半を占めるようになり「子供の頃に欲しかった物」を「まとめ買い」して帰るそうです。

昔にくらべ少年層が減ってしまったのは、それだけ物作りの関心が薄くなったのかと残念に感じました。

お茶を戴きながら昔を語っているうちに自分の少年時代を思い出し、私が長岡工業進学に憧れていたのはこの「龍文堂」に原点があったのかと、つくづく納得した次第です。

会員だより(平成 17 年度 70 歳表彰者)



今年は、9名の方が70歳功労者表彰を受けられました。下記に代表してご執筆頂いた3名のほか、並木 政治さん、五十嵐 修作さん、長谷川 宏さん、佐藤 登さん、土田 進さん、和田 康夫さんが表彰されました。まことにおめでとございました。これからも健康に留意され、ますますのご活躍を祈念いたします。



戦後も早や還暦

平原 恒雄 (25E)

古来稀と言われた70歳、嘗て他人様の様に嘯いて来た年齢を自分自身が迎えた。この度、長工同窓会東京支部からお祝いを頂き感激と一種の戸惑いを覚えた次第です。同時に、太平洋戦争終結60年目とを合わせ考えると、一入感無量なものがあります。

夏が来ると思いだし、決して忘れることの出来ないのが、あの8月3日夜の長岡空襲。現校舎の二代前の学舎が、一夜にして灰燼と化し、悪夢・修羅の夜が明ければ全市一面の焼け野原、異臭の炎天下に佇んで、只唾然自失したのが、昨日のように記憶に甦る。

我が国の今日的発展を、誰が予測し得たであろうか？その後、幾多の困難と曲折を経て、国際的に枢要な存在に至らしめたものは何か？それを問う時、日本国民の勤勉・実直と英知を基とした技、正しく手で支えた技術力、即ち、工業力に依るところ大であったと確信する者であります。 **長工魂の栄光に万歳！**



コッペパンの思い出

林 堅次 (28W)

旧越路町の片田舎に生まれ、百姓の手伝いばかりしていて、遊ぶことはほとんどなく、ましてや長岡の町に行った事も無かった。終戦前後の大変な時期が子供の頃で小学生でした。

古希を過ぎ、春頃から妻の買い物に時々ついて行く様になり、妻が、ダイコン、ネギ、ジャガイモ等買う姿を見て、今日の夕飯は何だろうかと思いながらついて回ります。最後にいつも買い求めるのがパンです。何種類も買うが、必ずあるのはコッペパンです。そのコッペパンの品名を見て52年前を思い出しました。

昭和25年の4月、長工の高校1年生になった15歳の時です。ほとんど、長岡の町に行った事の無かった自分が、2時間目と3時間目の間に弁当を食べるのに驚いた事と、本当の昼食時には、学校の売店でコッペパンを売っていて、同級生が食べているので、自分も買って食べました。食料事情の悪い時代でしたので、こんな旨い物があるのだと、はずかしながらも、よく買って食べた思いがよみがえり、懐かしく時々妻と一緒に食べています。今のコッペパンは、細長く半切りにして、ジャムやマーガリン等を入れてあり、味がついていますが、当時のパンは、もっと太く短く具も入っていなかったけれど、ミルク(牛乳)の味がしてとても美味しかった。

校歌、応援歌の練習の厳しさも初めて経験し、上級生が雲の上の人に思えた事。その他いろんな事が、古希の表彰を機会に思い出されて懐かしく、今日も元気で生きています。



70歳を過ぎて思うこと

新保 吉朗 (28M)

「技術家の生命は常に改善に志すことである」、長工の小川 朝太郎 昭和28年(1958年)3月、機械科の怖い先生だった万蔵の文である。小生より1年先輩の山本 貞夫氏から頂戴した、同級生の誌報の裏表紙に書かれた「名文」である。小生が感心したのはいまから、52年も前に高校の先生がこんな立派なことをほんとうに驚きである。また「技術家」か「技術屋」か、これも時代をあらわしていると思う。

入学当時(昭和26年)大戦が終わって食糧難の時代、学校の実習工場には、1台のモーターで駆動するため、ベルトかけの旋盤が数台、万力にヤスリ掛けの実習等々、多分現在の工業高校には想像出来ないもので、ましてや学校は空襲で焼かれ、そのコンクリートの基礎を、ハンマーを使って人力で壊す時代であった。

学校を卒業して50数年が経ち、紅白のリボンに飾られた長工の徽章を戴いたが、懐かしくもありその若き日々を思い出し、わが人生はどうだったのかなあ〜と、反省半分、満足半分である。出来ればもう一度、高校時代に若返り長岡工業に入学して、勉強をやり直したい気持ちも少しはある。

70歳を過ぎて思うこと、それは小生にはたくさんの友人がいることであり、退職後も楽しく生きている。港区にある芝増上寺に書かれている名言を借りて、劣文を終わりとしたい。「友1人ありて福1つ、友多くありて福多くある」良き友をたくさん得て楽しく生きましょう。

会員からの特別寄稿

小出の気温

私は上越線・浦佐から通学していました。今回は私の実家に一番近いアメダス・小出の観測データを使って、故郷の気候の特徴を再確認してみましょう。小出の気候の話の前に、私と気象の出会いについてお話ししましょう。

長工を卒業してから、電子計測器の開発の仕事をしていました。50歳を過ぎて定年を意識した頃、退職したら子ども達に気象の話できたら・・・そんな気持ちで気象予報士の試験にチャレンジしはじめました。

お酒を飲みながらの勉強ではなかなか・・・でした。気象のおもしろさは、学校で勉強した自動制御、負帰還増幅器と似ていて、系の出力が次の段階の入力（原因とも言う）になることで、制御系が不安定になるように、時間が経過すると予想もしなかった状況になります。明日の天気は今日の天気を基にある程度予想できるのですが、3日先は感ではほとんど無理なのはこの性質に起因するものです。

さて、小出の気温の話にします。

図1は昨年春の晴れた日の気温変化です。日の出前に最低気温、午後には最高気温が出るのが晴れた日の概ねの変化です。長岡と比較すると最低気温に大きな差があります。小出は夜間の風が弱いことが関係しています。ここで、最高気温－最低気温を気温日較差（きおんにちかくさ）と言います。気温日較差は農業関係では話題になります。この値はその日の天気、地域の地形などが関係して決まります。

小出の冬には気温変化が小さく、気温日較差が1℃未満の日が一年に何日かあります。これは風もなく雪がしんと降る日です。小出の東に越後山脈、西は魚沼丘陵があり、日本海からの季節風が弱まるからだと思います。ところが、春には晴天による日中に昇温と夜間の放射冷却によって、気温日較差が20℃以上の日が何日かあります。

この冬と春の現象は国内ではきわめて稀な特性です。

図2は1980年からのこの珍しい気温変化の日数です。

図3は気温日較差が1℃以下の日数と積雪の散布図です。2mくらいの積雪の年に気温変化の小さい日数が多いようです。今年は大変な雪でした。1℃以下の日数は12月に1日のみでした。気温変化の小さい日も、大きい日も共に風の弱い日です。このように風の弱い日の存在が小出の気候を特徴付けているようです。

風が吹かないとどんな気温に成るかの話でした。

関 隆則 (e37)
(気象予報士)

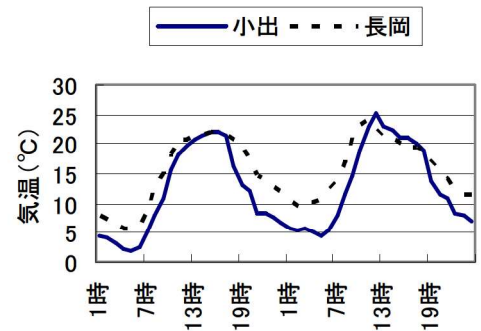


図1 2005年5月3日・4日の気温変化

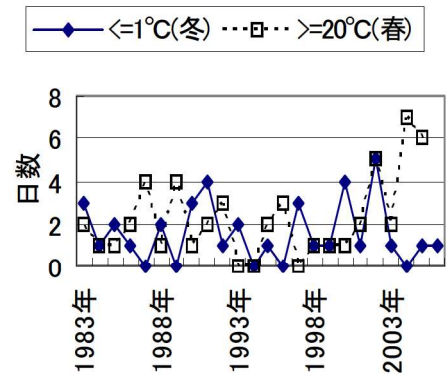


図2 極端な気温変化の日数 (小出)

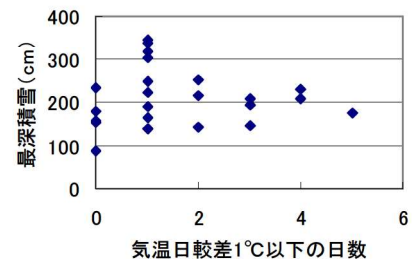


図3 気温変化の小さい日と積雪

同好会活動報告

登山同好会

リーダー 川澄 昂

忘年登山 平成 17 年 12 月 23 日

登った山 奥多摩 川苔山 1364m

(同窓会本部の広報で報告掲載しましたので省略します)

富士山眺望登山 平成 18 年 2 月 18 日

登った山 三つ峠山 1775m

パーティー 29E (樋口) 36E (星・阪西・保科) 38E (川澄・山本・石附)

ルート 新宿～京王高速BUS～西桂～TAXI～達磨石～八十八大師～三つ峠山頂

三つ峠山頂～母の白滝～河口湖郵便局～路線BUS～京王高速BUS～新宿

高速BUSを降りると陽の光を受けセピア色に輝く富士山が圧倒的な大きさに迎えてくれた。達磨石からの登りは緩やかであったが八十八大師からはアイゼンが必要な登山路をたどる、岩に張り付いたテロテロの氷が織り成す屏風岩ではロッククライミングの二人、オーバーハングする部分もある岸壁は100mくらいはあるか、寒風も厳しい。我々の登山など彼らには屁みたくないものか。山頂は小雪で富士山の眺望できず、富士(電機の阪西さん)を中央に据えて写真撮影何よりの記念になりましたが、遠路小千谷から富士山眺望を期待して参加した保科さん「本当にお疲れ様でした」下山ルート之母の白滝は漆黒の岩肌に透明の氷が貼りついて滝の飛沫に虹が輝いて冬山ならではの景観が疲れを忘れさせます。



ジョギング同好会

リーダー 小嶋 義輝

会のスローガンは「智足常楽(チズオ・チャンルウ)」で、主旨は足を知る者は常に幸せだ、健康は足から老化も足からとしており、参加していて良かったと思える同好会に育てようとお心掛けております。

主な活動内容 ①三浦国際市民マラソン大会(3月第1日曜日、京急の三浦海岸)。

②横浜マラソン大会(11月第2日曜日、横浜の山下公園)。

③目印の旗の作成を計画しており、図案の作成は完了している。

スポーツはそれ自体が目的でもあり、また手段としても活用できるので、日常生活に欠かせない役割を担わせる事ができます(教育、健康管理、福祉、文化、町づくり)。

現在、横浜マラソン(11月12日)の参加者募集中(懇親会のみ参加者も歓迎)、連絡先は小嶋義輝(C-37) TEL045-353-2377までお願い致します。

— 智足常楽で飛翔悠久 —



平成 17 年度総会報告(写真集)

平成 17 年7月 16 日



会場：池之端文化センター



受付風景



会長挨拶



会場全景



料理を配るコンパニオン



懇談風景(1)



懇談風景(2)



鮮やかなマジックショー

老いて尚盛ん！並木会長 “金メダル”

第16回新潟県マスタース水泳競技大会（H17.10.16開催）において並木会長（S.28年紡織卒、72歳）が50m自由形個人の部とリレーの部で見事優勝されました。誠におめでとう御座います。

「勝ちに拘りすぎては緊張する、自分の技量にチャレンジするだけ」との優勝の言葉はまさに金言であります。この記録は大会新記録であり将来に亘ってこれを破るのは至難であると思われます。

今回の優勝は一朝一夕にして成し得るものではなく常に寸暇を見つけて訓練に励む根性と努力の結果であり、ここにシニアならではの「心・技・体」をみるものです。トリノ五輪の荒川静香に勝るとも劣らぬ価値があり「長工同窓会の誇り」であります。

本年の大会でも連覇を目差されることと思います。同窓会としても応援し、また次に続く勇士が出ることを望んでおります。（樋口寄稿）



住所不明者の情報収集のお願い



昨年2,060名の会員に総会・懇親会のご案内を発送しましたが、56名分の案内状が宛先不明で戻ってきました。

皆様の中で心当たりの方がおられましたら、長工同窓会東京支部役員あるいは下記の名簿チームリーダーまでご連絡下さい。

No	卒業年度	科別	氏名	本部コード	No	卒業年度	科別	氏名	本部コード	No	卒業年度	科別	氏名	本部コード
1	昭31	染織	石黒 逞一	S31W0040	20	昭43	機械	芝 幸男	S43M017A	39	昭61	電気	土田 広	S61E018B
2	昭31	電気	板垣 稔	S31E0070	21	昭43	化学	黒崎 洋一	S43C0170	40	昭61	電子	新保 正彦	S61e0140
3	昭32	機械	石田 啄磨	S32M004B	22	昭45	染織	高橋 俊彦	S45W0170	41	昭63	電気	西澤 栄	S63E022B
4	昭32	電気	加藤 友夫	S32E0070	23	昭45	電子	小幡 清一	S45e0070	42	平02	染織	筒井 さとみ	H02W0280
5	昭34	機械	加藤 至	S34M010B	24	昭46	電気	坂牧 一	S46E015B	43	平02	化学	田村 雅美	H02C0**0
6	昭34	化学	米山 達雄	S34C0440	25	昭47	機械	土田 重明	S47M022A	44	平03	電気	高橋 直樹	H03E026A
7	昭34	電気	小林 昭治	S34E0130	26	昭47	機械	小山 幸雄	S47M018D	45	平04	電気	小林 猛	H04E018A
8	昭35	機械	山岸 章平	S35M036A	27	昭47	機械	早川 幸男	S47M030D	46	平04	電子機械	西山 健郎	H04m026B
9	昭36	染織	大塚 東雄	S36W0080	28	昭50	機械	廣井 徳行	S50M028D	47	平05	機械	鷺頭 伸行	H05M036B
10	昭37	染織	高野 嘉宏	S37W0230	29	昭50	化学	当重 敦	S50C0250	48	平05	化学	永島 洋介	H05C0290
11	昭37	電気	大桃善一郎	S37E0080	30	昭50	電子	鈴木 良二	S50e0230	49	平05	化学	丸山 孝司	H05C0350
12	昭37	電気	寺尾 英夫	S37E0300	31	昭52	電気	松本 篤	S52E032A	50	平05	化学	森 和孝	H05C0380
13	昭39	機械	河田 敬一	S39MT10B	32	昭53	化学	小橋 法彦	S53C0130	51	平05	電子	太田 仁志	H05e0070
14	昭40	機械	壘 弘二	S40MT25A	33	昭55	化学	谷内田隆雄	S55C0370	52	平05	電子機械	吉田 有一	H05m038A
15	昭40	電気	平沢 良弘	S40E032A	34	昭56	電気	新保 徹	S56E018B	53	平06	機械	竹井 正行	H06M021B
16	昭40	電子	関矢 寛治	S40e0210	35	昭57	機械	稲川 直樹	S57M006B	54	平09	機械	片桐 卓	H09M010B
17	昭41	機械	今井 潔	S41M005A	36	昭57	電気	石原 健一	S57E008B	55	平09	化学	今井 康則	H09C0050
18	昭42	機械	小林 義明	S42M020B	37	昭57	電子	細野 勝久	S57e0350	56	平10	電子機械	松川 祐輝	H10m032A
19	昭42	電気	上原 正夫	S42E007A	38	昭59	機械	間野 勇	S59M034A					

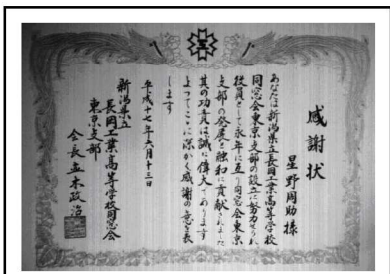
連絡先：〒211-0044 川崎市中原区新城 2-7-3 二宮 守栄 Tel・Fax 044-766-4932 Email ninomiya-mh@mta.biglobe.ne.jp

お知らせ

星野周助さんの表彰と永眠について

表彰

星野周助さんに、去る平成 17 年 6 月 13 日付けで長工同窓会発展のためにご尽力された功績に対し、東京支部は並木会長名で、感謝状と彫金の楯を授与しました。



永眠

星野周助さんは、感謝状授与から 10 日後の 6 月 24 日に、葉石効なく帰らぬ人となりました。ご冥福をお祈りいたします。



パソコンのウイルス対策をお願いします

最近、メールで NetSky 等のウイルスがネット上氾濫しています。同窓生の名前になりすましてあちらこちらに発信されているのが見受けられます。これは本人が知らぬ間に、ウイルスがその人のアドレス帳に登録しているデータで発信してしまいます。この発信記録は発信済みリストには残らないため、本人は全く気づきません。その他、ウィニーの暴露ウイルス等、情報漏洩のウイルスも話題になっています。お持ちのパソコンのウイルス対策をお願いします。

編集委員

会費納入の御願いとお知らせ

同窓会東京支部の会費；年会費は 1,000 円です。同梱の振り込み用紙でお支払い下さい。会費は支部の名簿管理、会報の発行、総会案内等の事務費に使われます。役員交通費や諸作業等はすべて各自負担のボランティアとなっています。

同窓会本部の会費；年会費は 2,000 円です。別途、本部から郵送の振り込み用紙でお支払い下さい。



- ◆ 我が故郷、新潟県は近年、地震、豪雨、豪雪と大変な被害にあいました。故郷に居る同窓の皆さんも頑張っていることと思います。我々もできる範囲で応援して行きましょう。(HK)
- ◆ 永年親しんできた“池之端文化センター”での同窓会も今回でお終りです。上野という場所は、母校を卒業して初めて降り立った思い出深い場所でした。来年からはまた新しい会場でお会いしましょう。(HK)
- ◆ 同窓会活性化のため、編集や記事に関する皆さんのコメントをお待ちします。(編集委員一同)

編集委員コメントあて先：片桐 八十八 (TEL & FAX : 0426-25-6076, Eメール yaso@mtf.biglobe.ne.jp)
 小嶋 義輝 (TEL & FAX : 045-353-2377, Eメール yositerukojima2002@nifty.com)
 小島 洋 (TEL & FAX : 0426-48-7250, Eメール h-kojima@kmail.plala.or.jp)